

# 黒田如水像制作について

2006年7月

知足院（ともたり）美加子

筑波大学 大学院 芸術研究科 彫塑 修了  
九州大学芸術工学研究院 芸術情報部門助手  
国画会（彫刻部）準会員  
福岡県美術協会（彫刻部）会員

## 制作コンセプト

福岡の繁栄は黒田如水の人間性という礎石がなければ語れない。今回の制作においては黒田如水への畏敬と感謝を念頭においた。また個人的にも先祖にゆかりがあったことから、不思議なご縁を誠実に表現したいと思った。（私方の先祖が英彦山の山伏で秋月黒田藩とご縁があり、家紋が黒田藩のものと同じである）

黒田如水の「聡明さ」「品格」「時代を見通す鋭敏な感性」「苦難を乗り越える強さ」などをテーマに制作した。

資料として参考にさせていただいたのは、以下の二つの肖像画と15代当主の黒田長久氏である



# 黒田如水像制作の流れ

2006年7月



デッサン



心棒



粘土による造形



石膏取り



石膏像

50cm × 38cm × 31cm

この後、鹿児島の大野美術工房に石膏原型を送る。蠟型にかえ、ブロンズで鋳込む「蠟型ブロンズ鋳造」という方法をとる予定